



Hosei University

・2017年度・

学生が選ぶ ベストティーチャー賞

実施報告



法政大学
教育開発支援機構

2017年度 法政大学
学生を選ぶベストティーチャー賞

ベストティーチャー「賞」ができるまで

ベストティーチャーとはなにか。難しい問題です。いっぽう、この「賞」は「学生を選ぶ」ところに特徴と意義があり、それが私たちのベストティーチャーのあり方を決めています。

投票した学生さんたちは、授業で感銘を受けた、毎回楽しかった、よく話を聞いてくれたといった印象深い先生に一票投じられたのだと思います。受賞者のお話からも、ただの人気投票ではないのがよくわかりました。

この「賞」は、ご存じのように、この企画に関心を持った学生さんが企画立案や広報の段階から担っています。教職員はサポートとアドバイス役です。受賞者の選出では、もちろん得票数が最も重要なのですが、企画から学生スタッフの皆さんが話し合い、「今年はこの特徴のある先生に焦点を当てよう」と方針を決めています。さらに投票が終わったあとも、投票コメントを見ながら、「こういう視点も大事だね」と再度議論を重ねています。いろいろ厳しいです。ただ選ばれたのではなく、選ばれた理由が大事なのです。そこから投票された学生さんたちの目のつけ所が分かってきますし、わたしたち教員の側もさまざま教えられます。

次回も多くの投票を。そして興味をもった皆さん、是非スタッフに加わってください。

大野 達司
 教育開発支援機構長 法学部教授



あなたにとっての
ベストティーチャーは誰ですか？

「学生を選ぶベストティーチャー賞」は、学生の学生による学生・教員のための「理想的な授業をしている先生を選んで表彰する」という目的で、2014年度より実施しています。2017年度のテーマは“あなたの推しの先生は？”

10月25日(水)～11月17日(金)の期間に、市ケ谷・多摩・小金井の3キャンパスで投票を受け付けました。



実行委員会の学生FDスタッフが中心となって広報活動を行った結果、3,032件もの投票が集まり、11名のベストティーチャーが選出されました。また、学生が記入した投票理由の中から「ベストコメント賞」を12件選出しました。



受賞教員紹介

おめでとうございます！



選出結果

市ケ谷キャンパス 徐 玄九 (兼任講師)
 内藤 淳 (文学部准教授)
 林 直嗣 (経営学部教授)

多摩キャンパス 藤沢 周 (経済学部教授)
 湯浅 誠 (現代福祉学部特任・任期付教授)

小金井キャンパス 狩野 覚 (情報科学部教授)
 佐藤 修一 (理工学部教授)

特別賞受賞者

グローバル部門 John Melvin (グローバル教養学部客員准教授)
実技部門 濱口 純一 (兼任講師)

殿堂入り (3年連続受賞)

塩崎 公靖 (兼任講師)
 鈴木 美伸 (兼任講師)

※教員身分は2018年2月27日現在のものです。

2017年度
 学生を選ぶ
 ベストティーチャー
 市ケ谷
 キャンパス

●主な担当科目：社会学Ⅰ・Ⅱ、社会学LC・LD
 ●専門分野・研究テーマ：政治社会学、社会思想、とくに東アジアにおける市民社会および政治文化の特質

兼任講師

徐 玄九



受賞の感想

受講してくれた学生に有難う。朗読や実演、質疑応答に積極的に参加してくれた学生に有難う。「この一年で社会不適合者に生まれ変わることができました」「社会学のおかげで大変ひねくれた考えをもってしまいました」と最高の賛辞を送ってくれた学生に有難う。

授業に心がけていること/工夫

暗記する情報や緻密な論理ではなく、「感じる」「考える」ための余白を残すことを大事にしています。そして、実演や朗読、優秀なリアクションペーパーの紹介を通して学習成果を共有するなど、学生の参加度を高めて教員と「合作」する授業を心がけています。

学生へのメッセージ

勇気を出して「恋」をしてください。観光ではなく「旅」をしてください。遊ばれるのではなく「遊」んでください。「恋」は己を知るため、「旅」は普遍的な価値を知るため、「遊び」は創造するためのものです。これらが「勉強」です。

おすすめの一冊

藤田省三『精神史的考察』(平凡社ライブラリー、2003)

2017年度
 学生を選ぶ
 ベストティーチャー
 市ケ谷
 キャンパス

●主な担当科目：法哲学、法学Ⅰ・Ⅱ
 ●専門分野・研究テーマ：法哲学(進化心理学に基づく人間本性の研究、それに基づく社会規範の基礎的研究)

文学部准教授

内藤 淳



受賞の感想

学生の皆さんから選んでいただいたということをとっても嬉しく思っています。

授業に心がけていること/工夫

教員が思う「易しいところ/難しいところ」と学生が思うそれとは違っていることが多いように思うので、その点を意識しながら授業をするように心がけています。

学生へのメッセージ

授業について気付いたことや直してほしいところがあったら教えてもらえると嬉しいです。

おすすめの一冊

黒川伊保子『恋愛脳一男心と女心は、なぜこうもすれ違うのか』新潮文庫、2006年

2017年度
学生が選ぶ
ベストティーチャー
市ヶ谷
キャンパス

●主な担当科目:ミクロ経済学入門、マクロ経済論、金融論、情報科学
実習・Basic コース、応用プログラミング、計量分析コース、Money
and Finance in Japan、Principles of Macroeconomics
●専門分野・研究テーマ:理論経済学、金融論、経済政策、応用計量経済学、
コンピューター・プログラミング; 経済と金融の理論的・計量的・政策的な分析

経営学部教授

林 直嗣



受賞の感想

少人数でも大人数でも、受講生と共に生き生きと会話しながら双方向の授業を目指しているので、学生諸君から支持を頂いたことは素直に嬉しく光栄に思います。学生諸君がアクティブに学修できること、卒業後に社会で大いに活躍できることを目標に、今後とも授業改善の精進をします。私情協で主体的学修の活動をしてきましたが、より多くの先生方に参加されるようお願い致します。

授業に心がけていること/工夫

受講生が面白い、興味が湧く、学びたい意欲が湧く、という主体的学修を目指しています。教科書や問題集を書き、ICT を使って Web 教材を作成し、受講生が予習と復習をできるようにします。約 50 問の授業内クイズを次々と出し、高校・大学の教養力を鍛えながら、その上に専門的内容を教育します。学士力の最終目標は総合的な判断力・解決力であるので、広い教養と深い

専門の知識や思考力を総合して、社会で役に立つ学修ができるようにします。

学生へのメッセージ

自分が興味あることを自由に積極的に研究しましょう。友達を作り、趣味を豊かにしましょう。アルバイトやできれば自分で起業をしてみましょう。林ゼミでは大学 3 年で学生起業家選手権で優勝し、会社を起業した学生がいます。ビル・ゲイツ、ジョブズ、ザッカーバーグなど著名な大実業家は学生時代に起業しています。青年こそ自由な創造力の宝庫です。青年よ大志を実現しましょう。

おすすめの一冊

『いま頑張らずにいつ頑張る! 尾関宗園の意識革命語録』尾関宗園著、日新報道、1984。『選択の自由』ミルトン&ローズ・フリードマン著、西山千明訳、日本経済新聞出版社、1980年、新装版 2012年。

2017年度
学生が選ぶ
ベストティーチャー
多摩
キャンパス

●主な担当科目:日本文学、日本文化論、文章表現A・B、演習、
入門ゼミ
●専門分野・研究テーマ:近現代日本文学、小説創作

経済学部教授

藤沢 周



受賞の感想

思いもかけぬ受賞に、本当にビックリ。文学の賞を貰うより嬉しかったのです。学生の皆さんに心から感謝です。

授業に心がけていること/工夫

若い学生達は、我々教員よりはるかに感性も知力もあるのです。だから、極端なことを言えば、良い素材、面白い素材を提示するだけで充分なのだと思っています。それをいかに学生達が楽しんでくれるか。学生達一人一人の可能性を広げられればいいな、と心がけております。

「読め。書け。悩め」、です。迷ったり、停滞しても、何も問題なし。立ち止まらなければ、見えない風景もあるのです。自分という可能性を楽しんで欲しいと思っています。

おすすめの一冊

開高健著『オーバ!』(集英社文庫)。世界は驚きと興奮に満ちています。そして、人間こそ! 生きる事が楽しくなる一冊。

2017年度
学生が選ぶ
ベストティーチャー
多摩
キャンパス

●主な担当科目:社会問題論
●専門分野・研究テーマ:貧困、社会的包摂、民主主義

現代福祉学部
特任・任期付教授

湯浅 誠



受賞の感想

昨年に引き続き、栄誉ある賞をいただきこと、感謝します。残り一年の任期もせいっぱい勤めたいと思います。

授業に心がけていること/工夫

「教える」と「学ぶ」は違うという観点から、受け手(学生)目線の授業を心がけています。なるべく、受講学生の持ち帰るものが多くなるよう、参加型で授業を行っています。

自分の納得感さえあれば、何をしても良いと思います。納得感をもてるかどうかは、「将来、自分の子どもができたときに、この思い出を自信をもって話せるか」という評価尺度で考えてみたらどうでしょうか。

おすすめの一冊

ミハエル・エンデ『モモ』

2017年度
学生が選ぶ
ベストティーチャー
小金井
キャンパス

●主な担当科目:応用のための数学基礎科目群(微積分法、フーリエ
解析、線形応答、ベクトル解析)、物理基礎科目群(力学、電磁気学、
熱力学、振動・波動)
●専門分野・研究テーマ:物理学(原子分子物理、非線形分光)

情報科学部教授

狩野 覚



受賞の感想

担当科目は抽象度が高く難しいものが多いし、ほとんど毎回レポートの提出があり負担が多いですが、皆さんが高い評価をして下さったことはたいへん嬉しく、また心強く思います。

授業に心がけていること/工夫

1) 抽象的理論を具体例で説明 2) 学生諸君の疑問を聞き解説 3) 他科目との関連を説明 4) アニメーションを用いた課題を授業内で発表してもらおう 5) 授業内容・進行が分かる資料を WebPage に掲載。

学生へのメッセージ

自分の人生が豊かになる友人関係を築けるとよいと思います。日本語(外国語も)を正しく効果的に使って考えを伝える能力を磨きましょう。理工系は数学によるコミュニケーション能力が重要なことも忘れずに。

おすすめの一冊

解析入門(ハーン著、シュプリンガー/丸善):日本数学会書評「ぜひ一読を勧めたい」、微積分の応用実例(宇宙、ロケット、生物、経済など)で文系諸君も楽しめる大学図書館、情報科学部図書館にあります。

2017年度
学生が選ぶ
ベストティーチャー
小金井
キャンパス

●主な担当科目:物理学基礎 I/II、時空間構造と座標系、現象
モデリング、創生科学基礎実験 I など
●専門分野・研究テーマ:重力波物理学、相対論実験

理工学部教授

佐藤 修一



受賞の感想

物理分野での受賞などまったく想定していませんでしたので、驚きの一言です。これがまた双方で何かのきっかけとなって、よりよい授業へ繋がればよいと思っています。

授業に心がけていること/工夫

わかった!のきっかけになること。多くを詰め込むのではなく、多くを自発的に学び進めることができるようになるためのきっかけを作ることを心がけています。

学生へのメッセージ

学問を学ぶことそのことよりもむしろ、学問を学ぶ姿勢を強固に身につけることが重要な気がしています。AI ではなく人にしかできない能力を身につけることが、これからの世の中を生き抜いていくためのキーとなるものと考えています。

おすすめの一冊

瀧本哲史『ミライの授業』(私が学生の頃に出会っていたかった本のうちの1冊!)

2017年度
学生が選ぶ
ベストティーチャー
特別賞
グローバル部門

●主な担当科目:Introduction to Tourism Studies, Tourism Development in Japan, Services Marketing, Debate and Discussion
●専門分野・研究テーマ:Tourism Management and the Tourist Experience: How organisations can facilitate customer value creation

グローバル教養学部
客員准教授

John Melvin



受賞の感想

I was very pleasantly surprised to be nominated and wish to thank all the students who have found my classes rewarding. It is a great honour for GIS, and can help raise awareness of the range of challenging courses we offer. During the ceremony I was impressed at the calibre of students who were also receiving awards.

授業に心がけていること/工夫

At GIS we favour smaller class sizes, so our classes have a more interactive approach. As teachers we have to try our best to demonstrate the value and importance of what we are teaching.

学生へのメッセージ

I'd recommend students prepare before the class so they can play an active role. This is students' opportunity to learn and improve themselves - there aren't any second chances so make the most of it!

おすすめの一冊

'The Experience Economy' (2011) by Pine and Gilmore is a very interesting analysis of competitive advantage in current economic times and contains numerous good ideas that students can utilise in their future careers.

2017年度
学生が選ぶ
ベストティーチャー
特別賞
実技部門

●主な担当科目：スポーツ総合演習、スポーツ科学、バレーボール指導論、ボールスポーツ実習
●専門分野・研究テーマ：スポーツマネジメント（スポーツチームの企業スポンサーシップ、チームマネジメント）

兼任講師

濱口 純一



受賞の感想

このような賞をいただき、ありがとうございます。この賞を励みにより良い授業をできるように努めて参ります。

授業に心がけていること/工夫

私が授業を行う際に特に心がけていることは、「自分が学生だったら、どんな授業だったら?」ということを念頭に置きながら授業を進めるようにしています。1回の授業で受講学生全員と会話してコミュニケーションを取るように心がけています。あとは私自身が自ら楽しく授業を進めるようにしています。

学生へのメッセージ

色々あるとは思いますが、一番は人前で話をするこのスキルは学生時代に身に付けておくと思いいます。

おすすめの一冊

トーマス・フリードマン『フラット化する世界』

2017年度
学生が選ぶ
ベストティーチャー
殿堂入り
(3年連続受賞)

●主な担当科目：スペイン語、スペイン語の世界
●専門分野・研究テーマ：スペイン・バスク地方の文化・歴史、国際文化学

兼任講師

塩崎 公靖



受賞の感想

3年連続受賞での殿堂入りというのは、まったく想像していないことでした。とはいえこの賞は自分ひとりで獲得したものではなく、学生のみならずはじめ、家族や友人、学務の方々など、様々な人に支えられての受賞だとあらためて実感しています。今後もそうした声に応えられるような、自分なりの「面白い授業」を追求していきます。

授業に心がけていること/工夫

担当している授業のほとんどが「朝早い」「必修の」「語学の授業」なので、一部の学生からは三重苦のように捉えられていると思います。そうした学生も思わず足を運びたいような空気感と、学生と

のリレーション、「やらなきゃいけない」でなく「やってもいいかな」と思ってもらえる授業の進行になるよう常に気をつけています。

学生へのメッセージ

大学生という時期は、多くの「人生の転機」が転がっている時期です。常識に縛られすぎたり、失敗を恐れて何もしないのは本当にもったいないので、いろんな場所に行ったり、いろんなことにチャレンジしてください。

おすすめの一冊

エルネスト・チェ・ゲバラ『モーターサイクル・ダイアリーズ』

2017年度
学生が選ぶ
ベストティーチャー
殿堂入り
(3年連続受賞)

●主な担当科目：就業応用力養成1・2（キャリアデザイン学部公開授業）
●専門分野・研究テーマ：実践知教育。大学キャリア教育、ビデオ教材開発による産学連携・連続人材育成。人口減少化における大学と企業の人材採用育成戦略。

兼任講師

鈴木 美伸



受賞の感想

本年度でプロジェクトが終了し、低学年向けの授業がなくなるのは残念ですが、高学年向けにより密度の濃い授業を行います。3回目の受賞で「殿堂入り」だそうです。新校舎の何処かに居場所ができれば嬉しいです。

授業に心がけていること/工夫

昨年度から総長の提唱を受けて「実践知授業」に取り組み始めています。特定学部の専門知識だけでは理解は困難ですが、全学部生が集まる公開授業のメリットを活かして今後も「出会い系」「創発系」授業を目指します。

学生へのメッセージ

未知の世界に挑戦して限界を超えましょう。最初は上手くいかなくても、それは「失敗」ではなく貴重な「経験」です。社会ではあまり失敗できませんが、大学は失敗が財産になる場所です。何もしないことが大失敗です。

おすすめの一冊

安達幸裕(2010)『変貌するチームリーダー』ダイヤモンド社 社会人向けですが、リーダーが求められる時代背景のわかる良書です。

選出理由 (抜粋)

いつも学生と笑顔で接してくれて、時に人生の相談にも乗ってくれます。私もこのような先生になれるよう頑張りたい。

1限からでも行きたくなる、さらに、1日の始まりにふさわしい、脳を活性化させる講義。

シンプルにとっても良い先生。生徒一人一人のことをよく見ていて気遣ってくれる、優しい先生。授業は集中授業ということもあり、体育が苦手な人でも楽しめるような内容だった。たくさん笑わせてくれたり、話してくれたり、とても親しみやすい。単位が取れたとしても、また来年だったり、何度でも講義を受けたくなるような先生!

教授のみが喋り続ける一方通行な座学ではなく、教授と生徒の言葉のキャッチボールで成り立つ新スタイルな講義。

すべての生徒に平等に気を配る。授業が楽しい。

とにかく授業が面白い、生徒に対する思いやりも持ちつつ、分かりにくい内容もより細かく、かつ面白く、飽きを来させないように教えてくれる。一番受けてよかったと思う授業。

授業中にクイズをたくさん出して、それがポイント、点数、成績に関わってくるのでモチベーションが高く保ったまま、授業を受けることができる。

授業内容が分かりやすく、合間の雑談もとても面白いから。大教室での授業だが、学生を惹きつける話術が素晴らしい。

大学に入って自分の意見を言ったり、他の人の意見を聞ける授業形式で緊張もしたが、とても新鮮な気持ちで受けることが出来た。

他の授業とは違い、自らが参加、そして進めていく形式でやりがいがあったから。また、今までもやもやしていた問題がこの授業ではっきりと伝えられたのでとてもすっきりした。

授業の分かやすさだけでなく、学生が飽きない工夫をしているから。真面目にやる時はやるが、笑いをもたらしてくれる。

生徒とのコミュニケーションによるアクティブラーニングが非常に楽しく、なおかつ、今後のキャリアに対する思考力が高い次元に運ばれる目から鱗の21世紀型講義。

解説がわかりやすく、興味を持ちやすい。学生参加型の授業であり、楽しく、積極的に出席したいと思える。

学んだ内容が実際にどのような分野で使われているかをわかりやすく教えてくれており、理解がしやすい。

先生の人柄がとっても良い。授業でたくさんの人と話す機会がもてた。



※こちらの選出理由は、基本的に投票された学生のコメントをそのまま掲載していますが、一部修正を加えています。

活動の様子と表彰式・授賞式

学生FDスタッフ
担当教員からの
メッセージ



川上 忠重

教育開発支援機構 FD推進センター
学生FDスタッフ担当教員 理工学部教授

2017年度の「学生が選ぶベストティーチャー賞」も学生FDスタッフを中心として、過去最高の投票数の中(投票総数3,032件、2016年度1,225件)実施することができ、トライアルから4年目を迎え、あらためて、本取組みが学生にも少しずつ理解・浸透しつつあることを実感しました。

今年度のテーマは、「あなたにとつての「推しの先生」はいませんか?」として、各キャンパスから合計7名、特別賞(グローバル部門および実技部門)2名、殿堂入り(3年連続受賞者対象)2名の先生方が受賞者として選ばれました。先生方への投票用紙に記入されている投票理由にも、投票学生の「推しの先生」への熱い思いが書かれており、「ベストコメント賞」の内容を含めて、学生・教職員の協働による「授業創り」の重要性も伺えます。

「学生が選ぶベストティーチャー賞」は、学生の投票による「皆さんの授業への想い」を伝える1つの架け橋です。学生FDスタッフ一同、2018年度の実施に向けた検討・情報収集もすでに始まっています。是非、身近な先生方への貴重な皆さんの意見を、聞かせてください。2018年度の熱い投票も、心からお待ちしています!

2017年10月25日(水)～11月17日(金)、学生FDスタッフが3キャンパスで投票の呼びかけを行うなど、広報活動を展開しました。

11月25日(土)に選考を行い、12月25日(月)に表彰式・祝賀会を開催しました。

3キャンパスでの実施の様子



▲ 市ヶ谷キャンパス



▲ 多摩キャンパス



▲ 小金井キャンパス

表彰式・祝賀会



▲ 開会の挨拶(廣瀬常務理事)



▲ 主旨説明をする大野機構長

学生が選ぶベストティーチャー賞実行委員会 学生FDスタッフ紹介

大堂 由貴

文学部日本文学科 2年



ベストティーチャー賞には今回で二回目の参加となりました。今年度は新企画として、投票者に景品の抽選をおこない、知名度がかなり上がったと思います。今回の活動では多摩キャンパスにも出張しました。来年は小金井キャンパスにも行きたいです。

西村 涼

法学部政治学科 2年



私は今年から学生FDスタッフに加入したので初めてのベストティーチャー賞でしたが、企画段階から選考まで学生主導で行えたが、企画段階から選考まで学生主導で行えたが、とても良い経験が出来ました。これからは誰が受賞したかは勿論その授業内容も広めていけるように努力したいと思います。

安河内 幸佳

文学部日本文学科 2年



私は今年で2回目のベストティーチャー賞でしたが、去年と人数もやり方も大幅に変えての取り組みだったので、去年と全く違って新鮮でした。たくさん人が来てくれてやっていて自分もすごく楽しかったし、嬉しかったです。ただ、新しくしたことでもた別の改善点も生まれて、色々考えさせられました。この活動をしていると学校生活や大学とは何かを考えるのですごく勉強になり、為になります。このFD活動は、先生や職員さんも色々サポートしてくれてやりたいことをやっていけるので、是非いろんな人を知ってほしいし、加わってほしいです。

渡邊 茉里奈

法学部国際政治学科 2年



ベストティーチャー賞活動において、学生スタッフや職員の皆様、そして投票して下さった学生の皆さん等、人と人の繋がりを感ずることができました。沢山の方々に協力して頂いたおかげで、過去最多の投票数を記録し、心から嬉しく感じました。これからも少しでも貢献することができたら本望です。

曾澤 佳祐

法学部法律学科 4年



FDスタッフが行うベストティーチャー賞も今年で4回目になりました、少しずつですが、進歩しているのを感じます。ベストティーチャー賞活動は達成感だけでなく、FDスタッフ全体の成長ももたらしてくれたと思います。今後さらに法政大学のベストティーチャー賞が、内外に周知されていくことを目指します! FD活動は達成感や成長が得られる場です。興味のある方はぜひ!

鵜澤 瑞貴

文学部心理学科 4年



ベストティーチャー賞を通じて、法政大学には様々な工夫を凝らし、そして熱意を持って授業をされている先生がたくさんいらっしゃると感じました。これは私が法政大学で数々の授業を受けてきた経験からも言えると思います。ぜひベストティーチャー賞を受賞された先生の授業を受けてみてください。

小瀧 裕紀子

経営学部市場経営学科 4年



今回は例年と比べかなり票数が増えベストティーチャー賞が認知されてきたのだと実感しました。次回はさらにベストティーチャー賞が発展することを期待します!!

鄭 輝潤

社会学部社会学科 4年



昨年に引き続き、2度目の参加になりました。同じベストティーチャー賞企画でも、やり方やアイデア1つで投票数が増えたり、より多くの人に知ってもらえるのだと実感しました。「工夫」や「改善」の大切さを再認識する良い機会になったと思います。

平城 葉子

法学部法律学科 4年



ベストティーチャー賞は実施から4年が経ちました。当初よりも、学生の認知度が高まり、今年は今までより多くの投票がありました。これからも、多くの学生に参加していただき、学生目線で「良い先生」を紹介できたら良いと思います。



学生FDスタッフは、ベストティーチャー賞をはじめ授業の改善を目的に様々な活動を行っています。



ベストコメント賞 発表



2017年度「学生が選ぶベストティーチャー賞」に、
ご投票いただいた皆様ありがとうございました。
いただいた投票の中から、12件の投票理由を
「ベストコメント賞」として選出いたしました。ぜひご覧ください。



学生思い！

学生の理解度に合わせて、授業内容を柔軟に変化させ、分かりやすく、身になる授業を行なっていると思うから。また、授業後に学生の個人的な質問にも、納得するまで時間をかけて丁寧に対応し、講義内容のより深い理解を促進させていると考える。加えて、授業内でのアクティビティを通し、学生一人一人の性格を知り、学生同士の交流の場をつくり、さらに、講義内容の導入になっているため、学生が講義を理解しやすく、受け入れやすい構成となるよう工夫されていると日々感じるため。学生のことをよく観察し、考えられた講義をしている彼女は、学生にとってとても魅力的で素晴らしい先生であると強く思うため。

学生の理解を深めてくれる仕組みがある！

理論と実践の両面からレクチャーしてくれた上に、随所に先生の工夫が見受けられたから。その分野に関する専門的な知識だけでなく、実際の企業でそれらの概念がどのように活用されているのかといった実態と照らし合わせて授業が進められていたし、授業内のグループワークを通じて色々な人の意見を知ることができ、視野を広げる事ができた。単なる知識のインプットに留まらず、意見のアウトプットや、社会の実態も加味された授業展開は非常に有意義に感じられたし、今後の人生にも十分に還元できる内容に感じられた。

工夫点が具体的に書かれている。

最後の1行で学生の対して親身に接してくれる先生であることが伝わる！プリントは穴埋め形式で空欄がたくさんあるので覚える部分の分かりやすい。その空欄は一人ずつ指していくので眠りにならないような工夫をしている。しゃべりがてきぱきして理解しやすい。毎授業の最後に公務員の問題などがあり、どのような問題が出るのか、また、授業の復習になっていい。生徒の名前をすぐに覚えたり、コミュニケーションをたくさんとって生徒思いだと感じた。

大学で、学生の悩みに応えてくれる先生はなかなかいない！

心理学の授業は内容や先生のやり方によって自分の興味や楽しさが変わってきます。中でも、先生の心理学の授業は、身近で起こっている心理学を扱い、それを実際に日常生活で起こっていることに当てはめるので、とても面白いです。また、この授業では、毎回初めに「こころの準備」というものを書きます。これは、「前回の授業でやったことで何を覚えていますか？」という設問がありますが、それに限らず、自分が今悩んでいることや不安なことを書くと、次回の授業で先生が初めに匿名で読み上げ、それに対してアドバイスをしてくれます。授業で学生の悩みに応えてくださる先生はなかなかいないし、かつ、リラックスして授業を受けられるので、そんな先生を見て私は非常に感銘を受けました。

癒しの効果◎、 ユニークな工夫がなされている！

先生は極端研究の方なので、授業の前の時間にペンギンの群れの動画を流してください。授業とは全く関係ありませんが、月曜5限ということもあり、可愛くてかなり癒されていました。また気象の授業で作業が多く大変ですが、分からないことがあると詳しく教えてください。出した課題はしっかりチェックしてください。時々褒めていただけるため、もっと頑張ろうという気持ちになります。優しく生徒思いな最高な先生です。

SNS を利用した工夫により、 学生自身のモチベーション向上が学生の 生のコメントとして感じられた点を評価！

この授業では授業中にリアルタイムでTwitterに投稿することで、先生に回答を頂けます、とてもおもしろい取り組みで、モチベーションもUPします。また、ゲスト講義も度々あるため、キャリアや組織の生の声を聞くことができ、とても有意義です。

気軽に質問ができるようになり、 疑問を持つことの大切さに気付けた 様子が伺える！

疑問を持つ楽しさを教えてくださったからです。先生の財務会計論の授業では、毎回質問カードを配り生徒からの質問を受け付けてくださっています。これまで私は授業を受ける際、内容を理解することが精一杯で質問をするなどもってのほかでした。しかし初回の授業で先生が「『貸借対照表はなぜ左に資産、右に負債・純資産を書くのか』という質問でも構いません。ぜひ調べてわからない『なぜ?』を質問してください」と言ってくださりました。それまでは、質問とは授業内容を理解した上で難しいことを聞かなければならないものかと思いついていたのですが、このような根本的な疑問でも構わないことに気がつき、気軽に質問できるようになりました。それからは「なぜ?」を探るために授業を聞くのが楽しくなったり「なぜ?」を意識して勉強するようになり、より深く学習できるようになりました。

授業における環境が完璧で、
とても素晴らしいです！



先生の学生への熱い想いが、 上手く表現されている！

どちらかといえば、全く興味の無い分野の学問でしたが、春学期受講した方の勧めで履修しました。その授業は、とても丁寧にわかりやすいレジュメであり、説明も上手でいらっしゃり、今まで受講した授業の中で最も学習意欲を高められると感じたからです。渡名喜先生は、とてもきめ細やかに生徒を気遣って下さいますし、寝ている生徒にはきちんと注意をくださるため、授業における環境が完璧でストレスフリーであることもとても素晴らしい点です。

効果的なアクティブ・ラーニングが 実践されていることが明確！

生徒とのコミュニケーションによるアクティブラーニングが非常に楽しく、なおかつ、今後のキャリアに対する思考力が高い次元に運ばれる目から鱗の21世紀型講義です。1限からでも行きたくなる、さらに、1日の始まりにふさわしい、脳を活性化させる講義。教授のみが喋り続ける一方通行な座学ではなく、教授と生徒の言葉のキャッチボールで成り立つ新スタイルな講義。



聞いていて勉強になるし、
何よりも楽しい！

学ぶこと＝楽しみと感ぜさせてくれる授業！

我々の日常生活に起こる社会的問題（虚言、結婚、医療倫理、平和論）に関して様々な哲学的学説を幅広くかつ中立に教示している。時折折々自虐風の雑談も含蓄があり、聞いていて勉強になるし、何よりも楽しい。学生の質問にも丁寧に答えてくれて、授業の最初には全体で必要だと感じられた質問に関しては新しい知識を教えてください。社会学を学びに法政に来た人は、まずこの授業を取ったうえで、問題を提起できれば、根本の問題解決の糸口になるに違いない。

後輩へ勧めたいという想いが 強く伝わってくる！

ここまで面倒見の良い大学教員に初めて会いました。多文化社会と人間は、国際文化学部とキャリアデザイン学部の学生が受けているため100人を超える大教室の講義です。しかし先生は提出した生徒ひとりひとりのレポートにアドバイスをくれます。レポートの書き方の細かい部分まで丁寧に教えてくれる講義はほかにはないので、後輩に進めたい授業です。熱心に取り組んでレポートを完成させることのやりがいを感じられます。この講義に毎回参加して先生の言う通りにレポートを進めれば提出前に徹夜をするようなことは無いので、計画的に終わるのでむしろ楽だと思います。身になると自信をもって言えます。

学生の人生にも影響を与える魅力的な授業！

私は初回の授業を受けた時、取るか取らないかとても悩んでいました。しかし、今となっては取ってよかったと心の底から思っています。授業では、リアクションペーパー（A4サイズ1枚）にびっしり書き、グループワークやプレゼンを行ったりとさまざまなことを行います。私は、今までこのような授業を取ったことがなく、自分の苦手なものばかりだと思い、取るのをためらってしまいました。しかし、先生のおっしゃることや先生の目の輝きに熱意を感じ、授業を履修することを決めました。授業は、最後まで大変ではありましたが、その自分自身が成長したと感ずることができました。先生には、とても感謝しています。先生に出会ってなかったら、今の自分はないと思います。ありがとうございました。

今年度もみんなに
会いに行きたいピョン!



2018年度も
「学生が選ぶベストティーチャー賞」
を実施します!

受けてよかった
授業を
ぜひ他の人に
教えましょう!

あなたにとっての
良い先生に
ぜひ投票して
ください!

私たちの
「ベストティーチャー」
を選出しましょう!

先生への感謝を
投票に込めて!

学生企画・
実行スタッフは
随時募集して
おります。

• 発行 •

法政大学教育開発支援機構FD推進センター

東京都千代田区富士見 2-17-1

E-mail: kyoiku@hosei.ac.jp

TEL: 03-3264-9040